

新井白石関連文化財



下書

あらいはくせきほうのうへんがく
新井白石奉納扁額
つけたりちようせんつうしんしいひょんひつしたがき
付 朝鮮通信使李磻筆下書

野牛久伊豆神社に掲げられている扁額には「久伊豆社 辛卯 仲冬 東郭」の文字が刻まれている。「辛卯 仲冬」とは正徳元年（1711）のことで、野牛村領主であった新井白石が朝鮮通信使応接役の功績を認められて知行を加増された年でもある。「東郭」とは、この時の朝鮮通信使で新井白石と親交のあった製述官の李磻のことである。この扁額は櫟材の一枚板に刻字されている。

この書の下書きは軸装に仕立てられ、代々の氏子総代宅に保管されていた。



野牛地区散策マップ

※観福寺周辺には野牛久伊豆神社や郷倉跡や白石様堀など、新井白石縁りの地が集中しています。是非お立ち寄りください。

①野牛久伊豆神社

②白石様堀

白石が命じて掘ったもので、排水を良くし農地は良田となり、収穫量も増えました。

③新井白石公郷倉跡

郷倉とは、飢饉等の災害に備えて穀物を貯蔵する施設で、白石によって建てられました。

④白石様堀公園



観福寺・白岡市教育委員会・
白岡遺産保存活用市民会議

地域の文化財を地域の手で守る 3

新井白石関連文化財

企画制作：白岡遺産保存活用市民会議 監修：白岡市教育委員会教育部生涯学習課文化財保護担当

協力：大悲山観福寺、野牛久伊豆神社、大久保茂之氏

〒349-0292 白岡市千駄野 432 白岡市教育委員会教育部生涯学習課

電話 0480-92-1894 E-mail: syougaigakusyuu@city.shiraoka.lg.jp

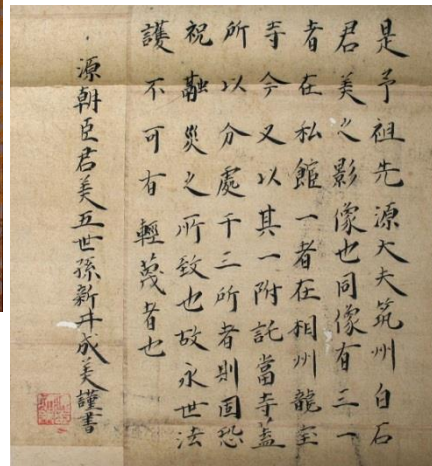




紙本着色新井白石画像

新井白石は、江戸時代中期の政治家・学者として名高い。六代将軍徳川家宣の下で「正徳の治」と称される「武家諸法度の改正」などの政治改革を行い、1000石の知行を治めた。この内の500石が野牛村であった。野牛村は明治維新まで新井家の知行地であった。

紙本着色新井白石画像は、白石五世の孫新井成美が縁りの場所に納めた3幅の内の1幅で、野牛の観福寺に納めたものである。



是予祖先源大夫筑州白石
君美之影像也同像有三
者在私館一者在相州龍宝
寺今又以其一附託當寺蓋
所以分處千三所者則固恐
祝融災之所到也故永世法
護不可有輕蔑者也

源朝臣君美五世孫新井成美謹書

【読み下し文】

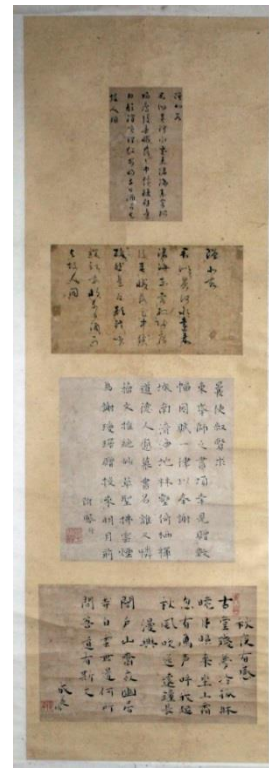
これは予の祖先、源大夫筑州白石
君美の影像なり。

同像は三つ有り。一つは、私館に在り。
一つは相州龍宝寺に在り、

今また其の一つを以って、當寺に附託す。
蓋し三所に處を分つ所以は、則ち固く
祝融の災之を恐れ致す所なり。

故に永く世の法を護り、
輕蔑有る可からざるものなり。

源朝臣君美五世の孫新井成美謹書



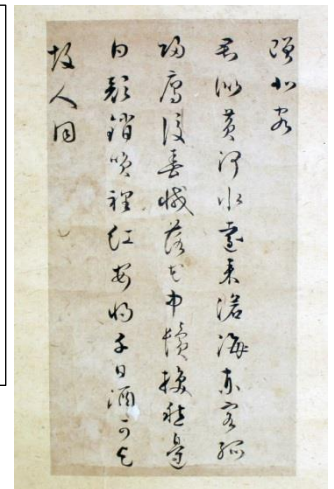
北からの客人に贈る
君は黄河の水が流れるように遠く青い海の東に來た。
雁が北国へ帰り、花が散り春が過ぎて行くように、
私の髪も白く変わり、
笑顔の裏に秘めた情熱も失せてしまった。
「千日酒」を飲んだという故の人と同じように、
どうして君と酒を酌み交わさずにいられようか、

新井白石自筆漢詩

自筆漢詩は、新井白石の領地野牛村の名主であった大久保家に伝わるもので、他の3点とともに軸装されている。この漢詩は、もとは一回り大きなものであったと思われる。

資料は「贈北客」と題する漢詩である。新井白石は幼少期から漢詩に親しみ、研鑽を積んでいる。朝鮮通信使來日の折には、新井白石の『陶情詩集』が一行の目にとまり序文を贈られている。朝鮮通信使製述官であった李碩との交流も漢詩を通じた文人としての色彩が強かったものと思われる。

本資料の存在は、漢詩人としての白石の足跡が野牛の地に残されていたことを示している。



贈北客
君似黃河水遠來滄海東客孤
鴻雁後春減落花中鬢換愁邊
白顏銷笑裡紅安將千日酒可與
故人同

【読み下し文】
北客に贈る
君は似る黄河の水
遠く來たる滄海の東
客は孤り鴻雁の後
春は減ず落花の中
鬢は換る愁邊の白
顏は銷ゆ笑裡の紅
いづくぞ千日の酒を
將りて故人と同じう
すべき